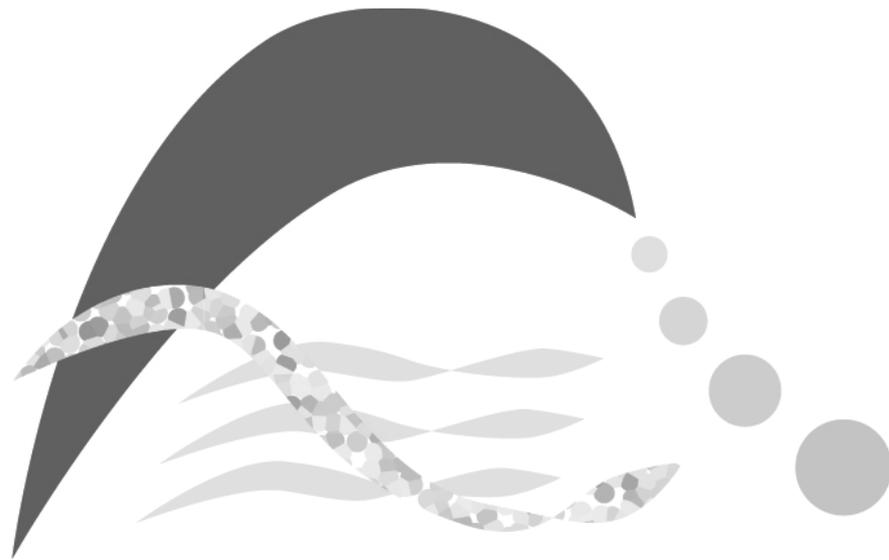


# 平成31年度 三田市のわかりやすい予算



兵庫県 三田市



# 目 次

<b>I 平成31年度予算の編成にあたって</b>	<b>1</b>
平成31年度重点施策	3
<b>II 予算の全体概要</b>	<b>5</b>
1 予算の規模	5
2 市税収入の状況	7
3 基金(貯金)残高の状況	8
4 債務(借金)残高の状況	8
<b>III 会計別当初予算の状況</b>	<b>10</b>
<b>IV 一般会計予算の概要</b>	<b>11</b>
1 歳入予算の内訳	11
2 歳出予算の内訳(目的別)	13
3 歳出予算の内訳(性質別)	15
<b>V 成熟都市の実現に向け、未来への道筋を示すまちづくり～明日の風がみえるまちへ～</b>	<b>17</b>
1 持続可能な歳出構造へ転換を図る	17
2 成熟都市へのあゆみを着実なものとする	19
(1) 地域の創生	
ア 地域コミュニティと協働	
① 【新】 地域計画策定支援事業	協働推進課 19
イ 子育て支援	
① 【拡】 保育士確保対策事業	こども支援課 19
② 【拡】 放課後児童健全育成事業	こども政策課 19
ウ 教育の充実	
① 【拡】 IT教育推進事業	学校教育課 20
② 【新】 部活動指導員配置事業	学校教育課 20
③ 【拡】 スクールソーシャルワーカーの増員	学校教育課 20
④ 【新】 医療的ケアが必要な児童生徒への通学支援事業	教育総務課 21
⑤ 【拡】 小学校施設改修事業(エレベーター設置)	教育総務課 21
⑥ 【拡】 小学校・幼稚園空調設備設置【繰越事業】	教育総務課 21
⑦ 【拡】 学校給食食器更新	学校給食課 21
エ 産業創造戦略	
① 【新】 起業家育成海外インターンシップ事業	産業政策課 22
② 【新】 インキュベーション施設開設補助事業	産業政策課 22
③ 【新】 若者企業就労マッチングバスツアー	産業政策課 22
④ 【新】 プレミアム付商品券発行事業	産業政策課 23
オ 農業振興	
① 新規就農支援	農業創造課 23
② 南丹・北摂地域鳥獣被害防止対策連絡協議会支援補助事業	農村整備課 23
③ 農畜産物のブランド力強化・消費拡大支援	農業創造課 24
④ 畜産経営基盤強化支援事業	農業創造課 24
⑤ ため池の保全・改修事業	農村整備課 24

<b>カ 文化・スポーツの充実</b>			
①	【新】文化ビジョン策定事業	文化スポーツ課	25
②	【新】スポーツ「夢」プロジェクト推進事業	文化スポーツ課	25
③	【拡】ファミリー・スポーツ・カーニバル&市民チャレンジデーの開催	文化スポーツ課	25
④	【拡】心道会館空調設備設置事業	文化スポーツ課	25
<b>キ まちのブランド創造</b>			
①	地場産レストラン整備事業	まちの再生課	26
(2) まちの再生			
<b>ア 里山及び環境の保全</b>			
①	【新】里山と共生するまちづくり推進事業	里山のまちづくり課	26
②	【新】林道大根谷線舗装整備事業	農村整備課	26
③	【拡】路上喫煙禁止区域拡大事業	環境衛生課	27
④	新ごみ処理施設整備基本構想策定業務	クリーンセンター	27
⑤	合葬墓の整備	環境衛生課	27
<b>イ 景観の形成・保全</b>			
①	景観重要建造物修景助成事業	都市計画課	28
②	古民家等再生利活用促進事業	まちの再生課	28
<b>ウ 都市基盤整備</b>			
①	三田駅前Cブロック地区推進事業	都市整備課	28
②	福島土地区画整理事業	都市整備課	28
③	相野駅北地区・対中町地区・広野地区まちづくり計画	都市整備課	29
④	公園施設長寿命化事業	公園みどり課	29
⑤	都市公園等管理運営事業	公園みどり課	29
<b>エ 交通ネットワーク</b>			
①	【新】交通計画推進事業	交通まちづくり課	29
②	【拡】地域外出支援おでかけサポート事業	交通まちづくり課	30
③	道路橋梁の安全確保	道路河川課	30
④	道路新設改良事業	道路河川課	30
⑤	橋梁長寿命化関連事業等	道路河川課	31
(3) 人と人との共生			
<b>ア 人と人とのつながり</b>			
①	【拡】障害者虐待防止対策事業	障害福祉課	31
②	【新】手話施策推進補助事業	障害福祉課	31
<b>イ 地域医療・介護</b>			
①	市民病院事業会計支出金	財政課	32
②	【拡】地域介護拠点整備補助事業	介護保険課	32
<b>ウ 健康福祉の充実</b>			
①	【拡】女性がん検診の拡充(乳房超音波検査の導入)	健康増進課	33
②	【新】新生児聴覚検査推進事業	健康増進課	33
③	【新】風しん定期予防接種	健康増進課	33
④	【拡】高齢者肺炎球菌ワクチン定期予防接種(経過措置延長)	健康増進課	33
⑤	【拡】歯科口腔健診の推進(20歳の無料化)	健康増進課	34

<b>エ 安全・安心の確保</b>			
①	救急車の更新	消防本部	34
②	【新】緊急通報システム(NET119・三者通話)導入事業	消防本部	34
③	消防団の装備充実	消防本部	34
④	【拡】防災倉庫資機材等整備事業	危機管理課	35
⑤	【拡】ハザードマップさんだ作成事業	危機管理課	35
(4) その他			
<b>ア 行政サービスの向上</b>			
①	【新】ICT活用事業(RPA導入、GISの活用)	情報推進課	35
②	【新】音声認識技術の導入	情報推進課・学校教育課	35
<b>イ 公共施設マネジメント</b>			
①	公共施設維持補修費	各施設所管課	36
②	学校・園、給食センター維持補修費等	各施設所管課	37
③	中学校大規模改修事業	教育総務課	38
④	【新】公共施設マネジメントにかかる基金積立金	財政課	38
⑤	【新】公共施設の運営、維持管理のための歳入の確保	人事課・教育総務課・総務課	38

※【新】は新規事業、【拡】は拡充事業、それぞれ30年度当初予算の内容と対比したものです。

# I 平成31年度予算の編成にあたって

## 1 国の状況等

国においては、「経済再生なくして財政健全化なし」の基本方針を堅持し、600兆円経済の実現と財政健全化目標達成の両立をめざすこととしています。そのため、人づくり革命や生産性革命に最優先で取り組み、成長制約要因の緩和を図るとしています。また、消費税率の引上げによる需要変動に対応しつつ、子育てや介護の環境整備等による全世代型社会保障への取り組みを進め、地方創生、国土強靱化、女性活躍、働き方改革などの政策により、経済の好循環を確かなものにするとしています。

財政健全化については、2025年度の国・地方を合わせた基礎的財政収支（プライマリーバランス）の黒字化と債務残高対GDP比の安定的な引下げを目指しています。

31年度は、「新経済・財政再生計画」で位置づけられた社会保障改革を軸とする基盤強化期間の初年度であり、同計画に基づき歳出改革等に取り組むこととし、地方財政については、地方が人づくり革命や地方創生、防災・減災対策に取り組むつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、一般財源総額について、30年度を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として対策を講ずるとしています。

## 2 本市の財政状況と予算編成について

本市の財政状況は、30年度の歳入のうち、市税は、175億円程度は確保できる見込みですが、29年度より減少することに加えて、国からの地方交付税も減少するなど一般財源収入の増加は期待できない状況にあります。

第4次総合計画の推進を下支えするために、29年度から取り組んでいる行財政構造改革方針の目標である「31年度までに一般財源ベースの歳出を260億円程度に抑制する」ことについては、30年度予算において前倒しで達成することができましたが、その後5月に公表した「中期財政収支見通し2018」において、依然として単年度で最大6億円を超える収支不足が予想されるなど、今後も厳しい財政状況が続くと見込んでいます。

31年度の歳入は、30年度当初予算と比較して、市税のうち固定資産税は増収となるものの、個人・法人市民税が減収となることから、市税全体では微減すると見込んでいます。また、地方の財源不足の補てんである普通交付税及び臨時財政対策債の合計額も30年度の決算見込みよりも減少することを見込んでいます。

一方、歳出では少子高齢化の進展などによる子育て支援、高齢者福祉、公共施設の改修・更新に係る経費などの増加に加えて、成熟都市に向けた取り組みも必要となります。

こうしたことから、31年度の予算編成に当たっては、将来に向けた投資等や備えにも取り組むべく、新たに「未来への投資枠」、「事務改善枠」を設けるとともに、公共施設マネジメントの実施のための財政的な対応にも着手することとしました。あわせて、従前のおり、人件費などの歳出の類型ごとに上限額（フレーム）を設け、歳出額のコントロールを図りました。こうした取り組みにより、消費税率の引上げを前提としながらも、30年度当初予算よりも一般財源ベースで歳出を1.9億円抑制することができました（30年度：259.6億円 31年度：257.7億円）。これにより、行財政構造改革方針に定める歳出の目標は引き続き達成していますが、なお収支不足が生じるため、その調整として財政調整基金から繰入（1億4,000万円）を行うこととしています。

### 3 31年度の重点施策

将来にわたって三田市が活力を維持するとともに、全ての市民が安全・安心に暮らせるためには、「地域の創生」、「まちの再生」、「人と人との共生」といったまちの成熟のための取り組みが欠かせません。また、前述のように、健全財政を維持するための取り組みも必要です。

そこで、31年度予算は、「新しい風」に象徴される本市の成熟の都市像をさらに具体化させていくため、「共に創る未来へのまちづくり予算」として位置づけ、次の事項を両立させつつ、下記の重点課題等に取り組む予算としています。

#### (1) 持続可能な歳出構造へ転換を図る予算

行財政構造改革に基づく取り組みなどの成果を反映させ、将来にわたって持続可能な歳出構造へ転換を図る予算とする。

#### (2) 成熟都市へのあゆみを着実なものとする予算

これまでの取り組みの成果を踏まえて、本市が成熟都市としての姿をより具体化させるための予算とする。

#### ◆◇ 重点課題等 ◇◆

総括方針 成熟都市の実現に向け、未来への道筋を示すまちづくり

重点課題① 地域の創生…チャレンジできる仕組みを整え、まち全体に元気を生み出す

重点課題② まちの再生…各地域の特性を踏まえ、賑わいと潤いを取り戻す

重点課題③ 人と人との共生…つながりを大切にし、心のバリアのないコミュニティを創る

### 4 財政の健全化の取り組み

31年度予算編成においては、行財政構造改革方針に基づく歳出抑制の取り組みにより、一般財源ベースの歳出額を260億円以下に抑えるとともに、財政調整基金（財源調整としての基金）からの繰入は30年度並みの1億4,000万円としたほか、減債基金は取り崩さないこととするなど、引き続き基金全体の維持回復に努めました。

しかし、本市を取り巻く財政状況は決して楽観視できるものではありません。

現在は基幹収入である市税は確保できているものの、今後は少子高齢化の急激な進展等により減少していくことが見込まれるとともに、国等からの地方交付税や地方交付金等の大幅な増額は見込めず、収入の確保が困難な状況です。

また、高齢者人口の増加による社会保障経費、公共施設の大規模改修・更新に係る投資的経費及び市債残高の増加なども予想されます。

これらのことと、一定の歯止めがかかったとはいえ、減少傾向にある基金の状況等を踏まえると、財政の硬直性が高まるおそれがあり、引き続き財政健全化の取り組みが欠かせません。

将来の全ての市民が、現在の私たちと同様、豊かな自然の恵みを楽しみ、利便性の高い都市基盤を活かしながら、安全・安心に、他者と共生し、夢と希望を持って自分らしく生きていける三田市を共に創り、未来へつないでいくことは、現在を生きる私たちの使命です。

そのためにも、将来の三田市にとって必要な取り組みは積極的に行いつつ、持続性と基金の確保等による安定性を備えた財政運営を行うための健全化の取り組みを市民の皆さんのご理解を得ながら、不断に行うこととします。

## <平成31年度重点施策>

成熟都市の実現に向け、未来への道筋を示すまちづくり～明日の風がみえるまちへ～

<b>(1) 地域の創生</b>	<b>24 事業</b>	<b>9億4,393 万円</b>
<b>ア 地域コミュニティと協働</b>		
①【新】 地域計画策定支援事業		135 万円
<b>イ 子育て支援</b>		
①【拡】 保育士確保対策事業		505 万円
②【拡】 放課後児童健全育成事業		4,109 万円
<b>ウ 教育の充実</b>		
①【拡】 IT教育推進事業		2,451 万円
②【新】 部活動指導員配置事業		176 万円
③【拡】 スクールソーシャルワーカーの増員		1,193 万円
④【新】 医療的ケアが必要な児童生徒への通学支援事業		35 万円
⑤【拡】 小学校施設改修事業(エレベーター設置)		5,351 万円
⑥【拡】 小学校・幼稚園空調設備設置【緑越事業】		6億2,195 万円
⑦【拡】 学校給食食器更新		196 万円
<b>エ 産業創造戦略</b>		
①【新】 起業家育成海外インターンシップ事業		100 万円
②【新】 インキュベーション施設開設補助事業		275 万円
③【新】 若者企業就労マッチングバスツアー		10 万円
④【新】 プレミアム付商品券発行事業	1億	582 万円
<b>オ 農業振興</b>		
① 新規就農支援		330 万円
② 南丹・北摂地域鳥獣被害防止対策連絡協議会支援補助事業		990 万円
③ 農畜産物のブランド力強化・消費拡大支援		175 万円
④ 畜産経営基盤強化支援事業		315 万円
⑤ ため池の保全・改修事業		3,110 万円
<b>カ 文化・スポーツの充実</b>		
①【新】 文化ビジョン策定事業		248 万円
②【新】 スポーツ「夢」プロジェクト推進事業		51 万円
③【拡】 ファミリー・スポーツ・カーニバル & 市民チャレンジデーの開催		85 万円
④【拡】 心道会館空調設備設置事業		1,116 万円
<b>キ まちのブランド創造</b>		
① 地場産レストラン整備事業		660 万円
<b>(2) まちの再生</b>	<b>17 事業</b>	<b>11億 734 万円</b>
<b>ア 里山及び環境の保全</b>		
①【新】 里山と共生するまちづくり推進事業		110 万円
②【新】 林道大根谷線舗装整備事業		670 万円
③【拡】 路上喫煙禁止区域拡大事業		58 万円
④ 新ごみ処理施設整備基本構想策定業務		198 万円
⑤ 合葬墓の整備		711 万円
<b>イ 景観の形成・保全</b>		
① 景観重要建造物修景助成事業		190 万円
② 古民家等再生利活用促進事業		2,273 万円

<b>ウ 都市基盤整備</b>			
①	三田駅前Cブロック地区推進事業		1,150 万円
②	福島土地区画整理事業		2億6,020 万円
③	相野駅北地区・対中町地区・広野地区まちづくり計画		2,156 万円
④	公園施設長寿命化事業		3,169 万円
⑤	都市公園等管理運営事業		821 万円
<b>エ 交通ネットワーク</b>			
①【新】	交通計画推進事業		70 万円
②【拡】	地域外出支援おでかけサポート事業		72 万円
③	道路橋梁の安全確保		1億3,411 万円
④	道路新設改良事業		2億3,745 万円
⑤	橋梁長寿命化関連事業等		3億5,910 万円
<b>(3)</b>	<b>人と人との共生</b>	<b>14 事業</b>	<b>25億 203 万円</b>
<b>ア 人と人とのつながり</b>			
①【拡】	障害者虐待防止対策事業		50 万円
②【新】	手話施策推進補助事業		8 万円
<b>イ 地域医療・介護</b>			
①	市民病院事業会計支出金		22億0,000 万円
②【拡】	地域介護拠点整備補助事業		2億 990 万円
<b>ウ 健康福祉の充実</b>			
①【拡】	女性がん検診の拡充(乳房超音波検査の導入)		127 万円
②【新】	新生児聴覚検査推進事業		12 万円
③【新】	風しん定期予防接種		3,840 万円
④【拡】	高齢者肺炎球菌ワクチン定期予防接種(経過措置延長)		250 万円
⑤【拡】	歯科口腔健診の推進(20歳の無料化)		57 万円
<b>エ 安全・安心の確保</b>			
①	救急車の更新		3,532 万円
②【新】	緊急通報システム(NET119・三者通話)導入事業		460 万円
③	消防団の装備充実		300 万円
④【拡】	防災倉庫資機材等整備事業		250 万円
⑤【拡】	ハザードマップさんだ作成事業		327 万円
<b>(4)</b>	<b>その他</b>	<b>6 事業</b>	<b>7億8,980 万円</b>
		<b>歳入</b>	<b>1 事業</b>
			<b>2,150 万円</b>
<b>ア 行政サービスの向上</b>			
①【新】	ICT活用事業(RPA導入、GISの活用)		462 万円
②【新】	音声認識技術の導入		141 万円
<b>イ 公共施設マネジメント</b>			
①	公共施設維持補修費		3億1,181 万円
②	学校・園、給食センター維持補修費等		3,975 万円
③	中学校大規模改修事業		3億8,221 万円
④【新】	公共施設マネジメントにかかる基金積立金		5,000 万円
⑤【新】	公共施設の運営、維持管理のための歳入の確保	<b>歳入</b>	<b>2,150 万円</b>

## Ⅱ 予算の全体概要

### 1 予算の規模

明日の風がみえるまちへ 『共に創る未来へのまちづくり予算』

一般会計予算 378億3,400万円 対前年度比 2.5%増

全会計予算 781億6,986万円 対前年度比 0.8%増

【会計別当初予算の規模】

(単位:千円)

会 計	30年度予算 A	31年度予算 B	差引増減 B-A	伸び率	
一 般 会 計	36,911,000	37,834,000	923,000	2.5 %	
主 な 増 減	けやき台中学校 大規模改修	46,000	382,212	336,212	
	福島土地区画 整理事業	125,032	260,198	135,166	
	扶助的経費 (幼保無償化等含む)	7,988,521	8,359,699	371,178	
	消防救急車両 整備事業	220,601	35,317	△ 185,284	
	他会計支出金	6,288,550	6,160,541	△ 128,009	
特 別 会 計	19,260,500	19,871,800	611,300	3.2 %	
企 業 会 計	21,390,767	20,464,064	△ 926,703	△ 4.3 %	
計	77,562,267	78,169,864	607,597	0.8 %	

#### 増減の主な要因

##### ①一般会計

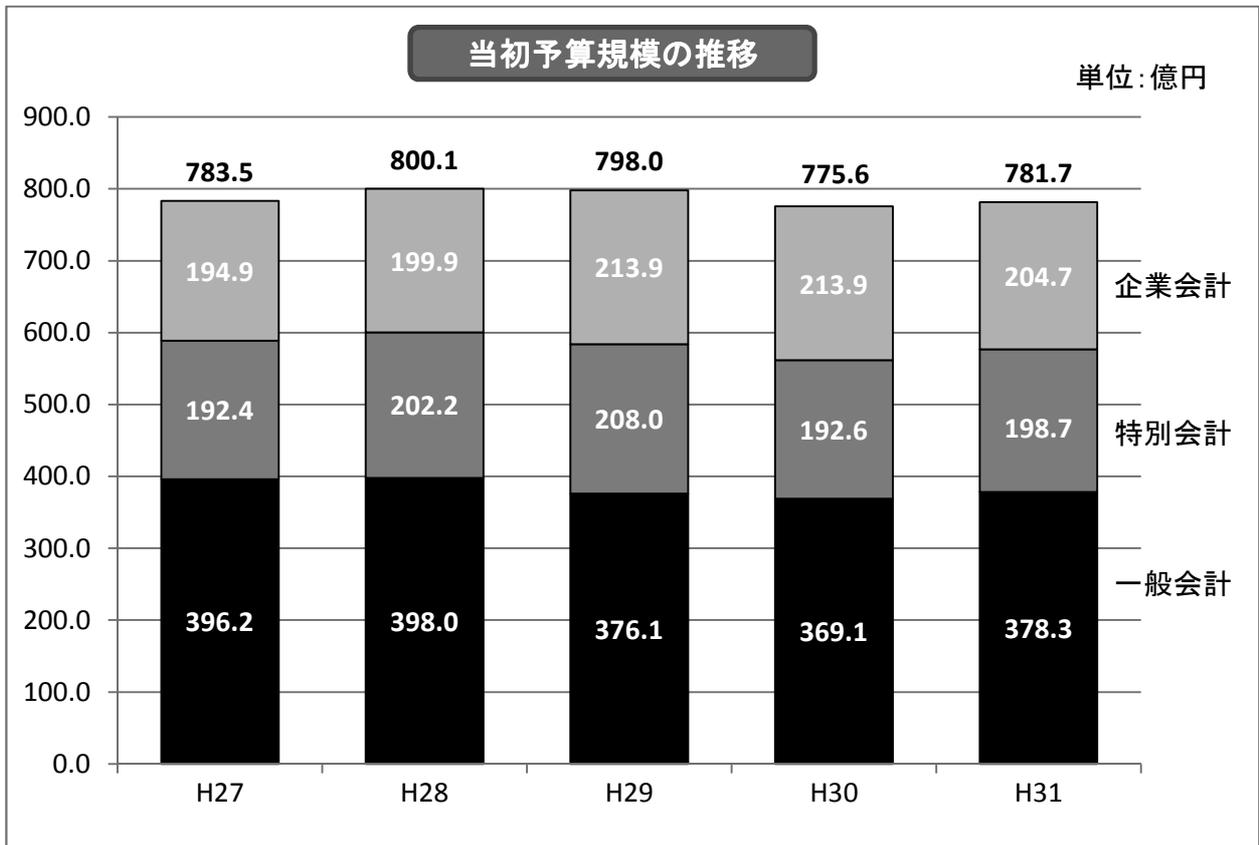
一般会計ではけやき台中学校大規模改修事業が3.4億円、福島土地区画整理事業が1.4億円、扶助的経費が3.7億円増加した一方で、消防救急車両整備事業が1.9億円、他会計支出金で1.3億円の減となっており、一般会計全体では9.2億円の増となっています。

##### ②特別会計

特別会計では主に給付費の増等により、国民健康保険事業特別会計で3.7億円の増、後期高齢者医療事業特別会計で1.6億円の増となり、特別会計全体では6.1億円の増となっています。

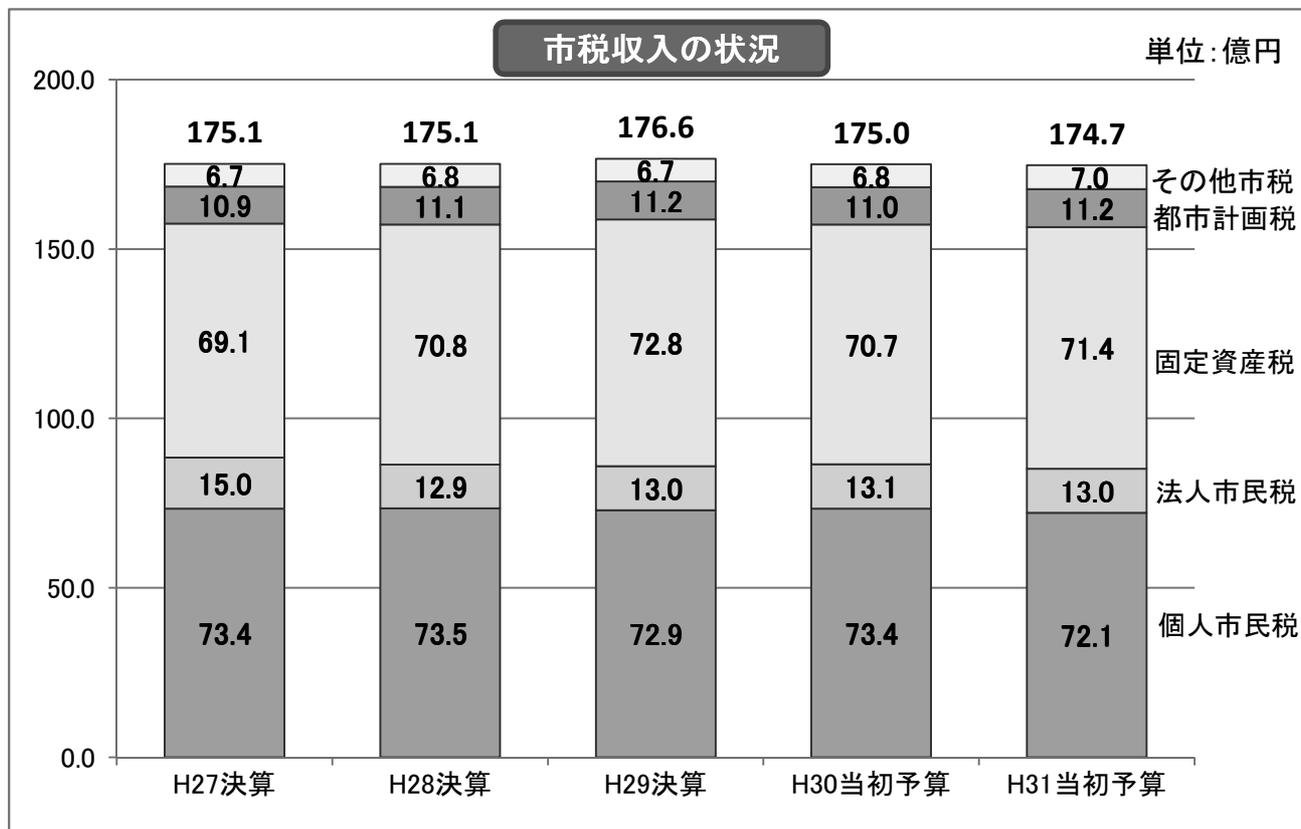
### ③企業会計

市民病院事業会計は、企業債償還金、医療機器購入費の減等により0.3億円の減となっています。水道事業会計は、固定資産除却費、有価証券購入費の減等により10.1億円の減、下水道事業会計は、建設改良費の増等により1.2億円の増となっています。



## 2 市税収入の状況

市税収入は174.7億円で、対前年度当初比0.3億円減(0.2%減)  
個人住民税が減収、固定資産税・都市計画税が増収



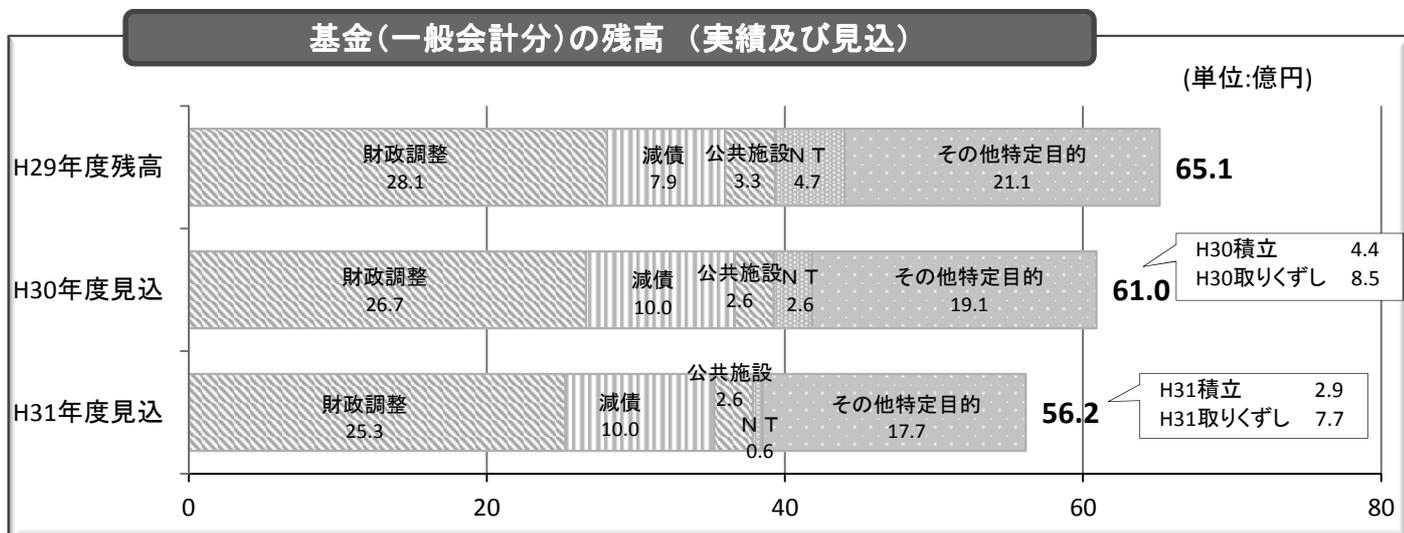
市税収入は、平成30年度当初予算より0.3億円の減少を見込んでいます。

その主な要因は・・・

- ・個人市民税は、納税義務者は増加していますが、1人当たり税額は減少傾向のため1.3億円の減少を見込んでいます。
- ・固定資産税は、土地と償却資産で0.4億円の減少を見込んでいるものの、家屋の新增築により1.1億円の増加を見込んでおり、固定資産税全体では0.7億円の増加を見込んでいます。
- ・都市計画税は、家屋の新增築により、0.2億円の増加を見込んでいます。

### 3 基金(貯金)残高の状況

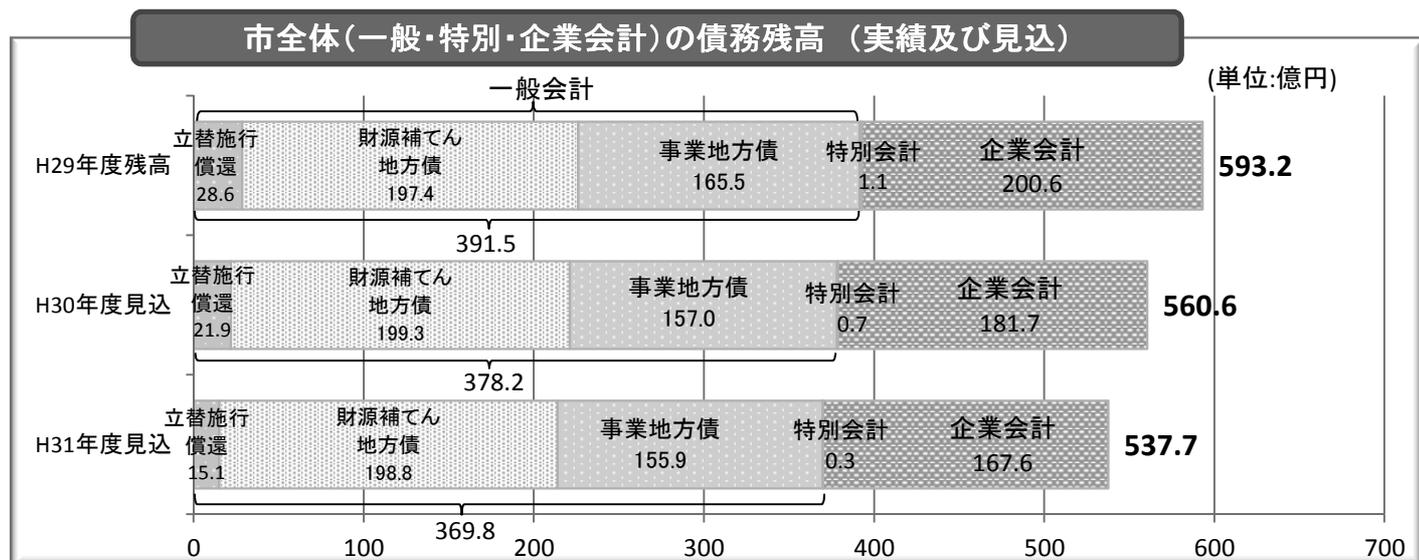
一般会計の基金を7.7億円活用し、道路整備や公共施設の整備・改修などを行います。平成31年度末残高見込は、56.2億円(対前年度4.8億円の減)



31年度は、公共施設の整備・改修ほか、特定の目的のために6.3億円、収支不足の補てんに1.4億円(財政調整)、合計7.7億円を取りくずす一方で、公共施設マネジメント対応財源として0.5億円(公共施設)を積立てます。なお、文化振興基金の31年度末残高は、100万円を切る見込みです。

### 4 債務(借金)残高の状況

一般会計の債務残高(立替施行償還含む)は、平成31年度末見込で369.8億円  
特別・企業会計を含む全体の債務残高は、537.7億円(対前年度22.9億円の減)



三田市の債務には、地方債の借入債務とニュータウン教育施設等の買い戻し債務(立替施行償還)がありますが、これらの償還額が借入額を上回っており、確実な債務の削減に努めています。ただし、近年では、臨時財政対策債などの財源補てん的の地方債の残高が増加しており、課題となっています。財源補てん的の地方債を除いた、道路や学校、公共施設の建設のために借り入れた地方債の残高は、前年度より1.1億円減少する見込みです。



### Ⅲ 会計別当初予算の状況

(単位:千円)

会 計 名		平成30年度 当初予算額	平成31年度 当初予算額	増減額 (31年-30年)	増減率
一 般 会 計		36,911,000	37,834,000	923,000	2.5 %
(うち、他会計支出金)		( 6,288,550 )	( 6,160,541 )	( △ 128,009 )	( △ 2.0 % )
特 別 会 計	国民健康保険事業 特別会計	9,744,700	10,114,300	369,600	3.8 %
	農業共済事業 特別会計	144,100	140,200	△ 3,900	△ 2.7 %
	公営墓地整備事業 特別会計	31,400	38,700	7,300	23.2 %
	駐車場事業 特別会計	67,900	63,600	△ 4,300	△ 6.3 %
	介護保険事業 特別会計	7,115,100	7,196,000	80,900	1.1 %
	後期高齢者医療事業 特別会計	2,157,300	2,319,000	161,700	7.5 %
	計	19,260,500	19,871,800	611,300	3.2 %
企 業 会 計 ※	市民病院事業会計	11,022,342	10,988,235	△ 34,107	△ 0.3 %
	水道事業会計	5,986,898	4,976,092	△ 1,010,806	△ 16.9 %
	(うち、他会計支出金)	( 500,000 )	( 500,000 )	( 0 )	( 0.0 % )
	下水道事業会計	4,381,527	4,499,737	118,210	2.7 %
計	21,390,767	20,464,064	△ 926,703	△ 4.3 %	
合 計		77,562,267	78,169,864	607,597	0.8 %
会計間取引を除く 実事業費予算		70,773,717	71,509,323	735,606	1.0 %

(※企業会計は、収益的支出と資本的支出を合計した予算額)

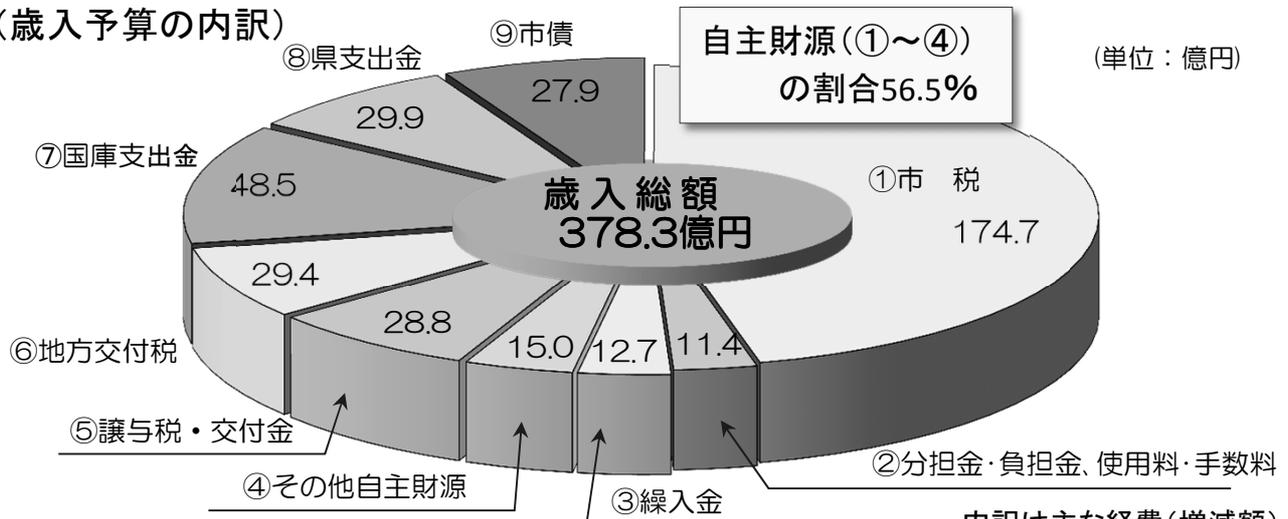
## IV 一般会計予算の概要

### 1 歳入予算の内訳

(単位:千円)

科目名		平成30年度 当初予算額	平成31年度 当初予算額	増減額 (31年-30年)	増減率	
自主財源	① 市 税	17,499,195	17,465,241	△ 33,954	△ 0.2 %	
	② 分担金・負担金、使用料・手数料	分担金及び負担金	281,085	216,742	△ 64,343	△ 22.9 %
		使用料及び手数料	922,651	925,707	3,056	0.3 %
		③ 繰 入 金	1,403,674	1,267,343	△ 136,331	△ 9.7 %
	財政調整基金繰入金	財政調整基金繰入金	140,000	140,000	0	0.0 %
		水道事業会計繰入金	500,000	500,000	0	0.0 %
		その他繰入金	763,674	627,343	△ 136,331	△ 17.9 %
	④ そ の 他	財 産 収 入	81,281	83,545	2,264	2.8 %
		寄 附 金	202,200	132,200	△ 70,000	△ 34.6 %
		繰 越 金	1	1	0	0.0 %
		諸 収 入	1,325,158	1,290,834	△ 34,324	△ 2.6 %
		計	21,715,245	21,381,613	△ 333,632	△ 1.5 %
	依存財源	⑤ 譲与税・交付金	2,911,500	2,881,324	△ 30,176	△ 1.0 %
		地方譲与税	地方譲与税	327,000	326,000	△ 1,000
利子割交付金			18,000	43,000	25,000	138.9 %
配当割交付金			185,000	150,000	△ 35,000	△ 18.9 %
株式等譲渡所得割交付金			160,000	120,000	△ 40,000	△ 25.0 %
地方消費税交付金			1,900,000	1,850,000	△ 50,000	△ 2.6 %
ゴルフ場利用税交付金			100,000	95,000	△ 5,000	△ 5.0 %
自動車取得税交付金			120,000	66,000	△ 54,000	△ 45.0 %
環境性能割交付金			0	36,000	36,000	皆増
地方特例交付金			84,500	179,324	94,824	112.2 %
交通安全対策特別交付金			17,000	16,000	△ 1,000	△ 5.9 %
⑥ 地方交付税		普通交付税	2,098,000	2,251,000	153,000	7.3 %
		特別交付税	690,000	690,000	0	0.0 %
		⑦ 国庫支出金	4,237,245	4,847,683	610,438	14.4 %
⑧ 県支出金	2,698,410	2,992,680	294,270	10.9 %		
⑨ 市 債	建設事業債	1,016,900	1,286,200	269,300	26.5 %	
	臨時財政対策債	1,504,000	1,369,000	△ 135,000	△ 9.0 %	
	行政改革推進債	39,700	134,500	94,800	238.8 %	
	計	15,195,755	16,452,387	1,256,632	8.3 %	
合 計	36,911,000	37,834,000	923,000	2.5 %		

(歳入予算の内訳)



内訳は主な経費(増減額)

①市税(前年度比 -0.3億円、-0.2%)

**個人市民税 72.1億円(-1.3億円)**  
 ・個人住民税所得割(現年) 69.7億円  
 (所得割額の減による)

**法人市民税 13.0億円(-0.1億円)**  
 ・法人市民均等割(現年) 3.3億円  
 (均等割額の減による)

**固定資産税 71.4億円(+0.7億円)**  
 ・土地(現年) 19.1億円  
 (住宅用地特例等による -0.3億円)  
 ・家屋(現年) 34.7億円  
 (家屋の新增築等による +1.1億円)  
 ・償却(現年) 13.8億円  
 (残存価額の減少による -0.1億円)

③繰入金(前年度比 -1.4億円、-9.7%)

・財政調整基金繰入金 1.4億円(±0億円)  
 ・水道事業会計繰入金 5.0億円(±0億円)  
 ・北摂三田ニュータウン施設整備管理基金繰入金  
 2.0億円(-0.6億円)  
 ・ありがとう！三田っ子応援基金繰入金  
 2.0億円(-0.4億円)

⑦国庫支出金(前年度比 +6.1億円、+14.4%)

・施設型給付費負担金 7.2億円(+1.8億円)  
 (認定こども園・小規模保育施設)  
 ・プレミアム付商品券事業費補助金  
 1.1億円(皆増)  
 ・社会資本整備総合交付金(道路橋梁)  
 3.6億円(+1.3億円)

⑤譲与税・交付金(前年度比 -0.3億円、-1.0%)

・自動車取得税交付金  
 (車体課税の見直しによる -0.5億円)  
 ・地方消費税交付金  
 (県税の見込減による -0.5億円)  
 ・地方特例交付金  
 (幼保無償化影響補填等による +0.9億円)

⑧県支出金(前年度比 +2.9億円、+10.9%)

・地域介護拠点整備費補助金  
 2.1億円(+1.9億円)  
 ・施設型給付費負担金 4.4億円(+0.7億円)  
 (認定こども園・小規模保育施設)  
 ・ひょうご地域創生交付金 0.6億円(-0.2億円)

⑥地方交付税(前年度比 +1.5億円、+5.5%)

**臨時財政対策債( // -1.4億円、-9.0%)**

地方の財源不足の補てんである普通交付税は、国の地方財政計画をふまえ、H30見込額より増。臨時財政対策債は、国の地方財政計画により減。

◎普通交付税と臨時財政対策債の推移  
 (単位：億円)

	普通交付税	臨時財政対策債	合計
H29決算	22.6	15.1	37.7
H30見込	21.9	15.2	37.1
H31予算	22.5	13.7	36.2

⑨市債(前年度比 +2.3億円、+8.9%)

・公共施設等適正管理推進事業債 3.8億円  
 ・道路橋梁整備事業債 4.6億円  
 ・中学校施設整備事業債 3.1億円

◎建設事業充当の市債発行状況  
 (単位：億円)

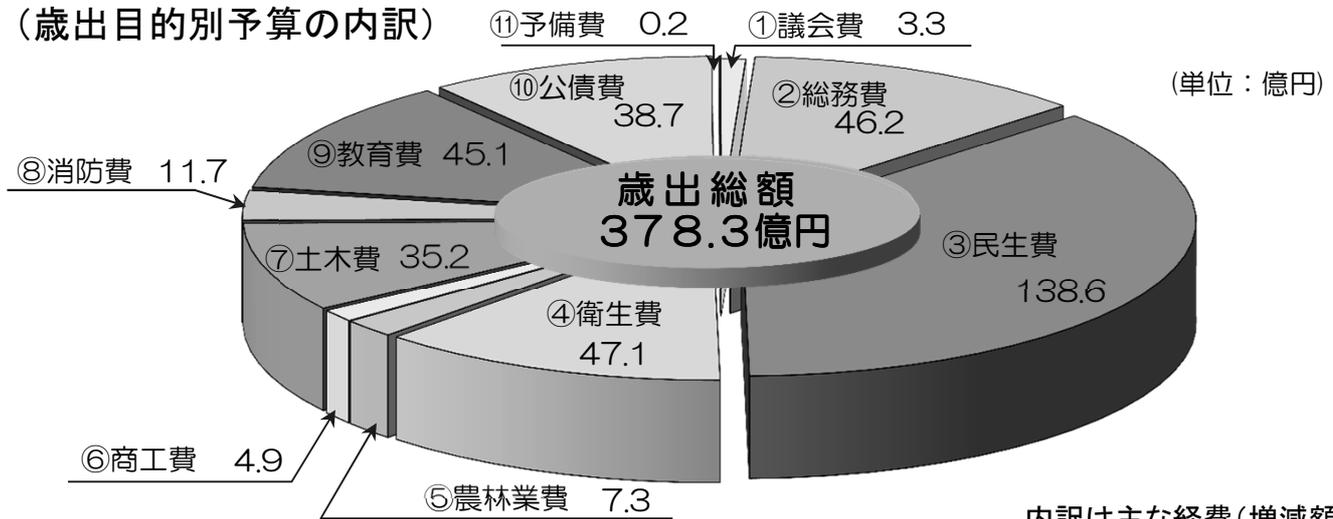
H29決算	9.0
H30予算	10.2
H31予算	12.9

## 2 歳出予算の内訳(目的別)

(単位:千円)

科目名	平成30年度 当初予算額	平成31年度 当初予算額	増減額 (31年-30年)	増減率
① 議会費	330,703	330,558	△ 145	△ 0.0 %
② 総務費	4,637,538	4,625,003	△ 12,535	△ 0.3 %
③ 民生費	13,138,795	13,856,430	717,635	5.5 %
うち他会計支出金 (国保・介護・後期高齢)	2,956,123	3,031,340	75,217	2.5 %
④ 衛生費	4,756,519	4,715,255	△ 41,264	△ 0.9 %
うち他会計支出金 (墓地・病院・水道)	2,321,142	2,223,302	△ 97,840	△ 4.2 %
⑤ 農林業費	738,593	731,071	△ 7,522	△ 1.0 %
うち他会計支出金 (農業共済)	28,834	26,800	△ 2,034	△ 7.1 %
⑥ 商工費	445,882	490,326	44,444	10.0 %
⑦ 土木費	3,451,876	3,519,625	67,749	2.0 %
うち他会計支出金 (駐車場・下水道)	982,451	879,099	△ 103,352	△ 10.5 %
⑧ 消防費	1,351,546	1,174,285	△ 177,261	△ 13.1 %
⑨ 教育費	4,159,408	4,510,098	350,690	8.4 %
⑩ 公債費	3,880,140	3,866,349	△ 13,791	△ 0.4 %
⑪ 予備費	20,000	15,000	△ 5,000	△ 25.0 %
合計	36,911,000	37,834,000	923,000	2.5 %
直接事業予算計	30,622,450	31,673,459	1,051,009	3.4 %
他会計支出金計	6,288,550	6,160,541	△ 128,009	△ 2.0 %

(歳出目的別予算の内訳)



内訳は主な経費(増減額)

②総務費 (前年度比 -0.1億円、-0.3%)

- ・ありがとう！三田っ子応援基金積立金 1.3億円(-0.7億円)
- ・ふるさと納税推進事業費 0.5億円(-0.2億円)
- ・公共施設等整備基金積立金 0.5億円(+0.5億円)
- ・選挙執行費 1.0億円(+1.0億円)

⑥商工費 (前年度比 +0.4億円、+10.0%)

- ・プレミアム付商品券発行事業費 1.1億円(皆増)

⑦土木費 (前年度比 +0.7億円、+2.0%)

- ・福島土地区画整理事業 2.6億円(+1.4億円)
- ・橋梁長寿命化関連事業費 3.5億円(+2.1億円)
- ・下水道会計支出金 8.6億円(-0.9億円)
- ・道路橋梁維持管理費 0.7億円(-0.4億円)
- ・市営住宅特殊修繕費 0.4億円(-0.4億円)

③民生費 (前年度比 +7.2億円、+5.5%)

- ・施設型給付費 14.5億円(+2.1億円)
- ・地域介護拠点整備補助事業費 2.1億円(+1.9億円)
- ・児童扶養手当給付費 3.4億円(+0.6億円)
- ・放課後等デイサービス給付費 2.2億円(+0.5億円)
- ・放課後児童健全育成事業費 0.6億円(+0.3億円)
- ・後期高齢者医療事業特別会計繰出金 12.3億円(+0.7億円)
- ・子育て支援医療費助成 4.1億円(-0.3億円)

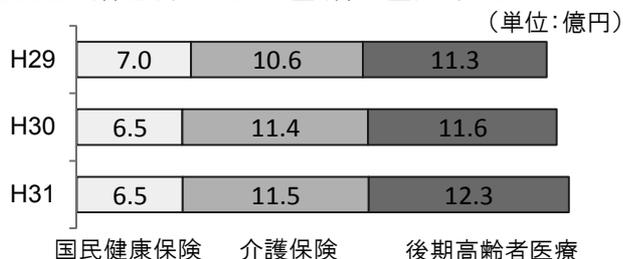
⑧消防費 (前年度比 -1.8億円、-13.1%)

- ・消防救急車両整備事業費 0.4億円(-1.9億円)

⑨教育費 (前年度比 +3.5億円、+8.4%)

- ・小学校EV設置工事 0.5億円(+0.5億円)
- ・中学校校舎改修工事 3.8億円(+3.4億円)
- ・図書館管理運営費 2.2億円(-0.5億円)

◎民生関係会計への支出金(繰出金)の状況



⑩公債費 (前年度比 -0.1億円、-0.4%)

- ・市債償還元利金 38.7億円(-0.1億円)

◎市債償還の状況



④衛生費 (前年度比 -0.4億円、-0.9%)

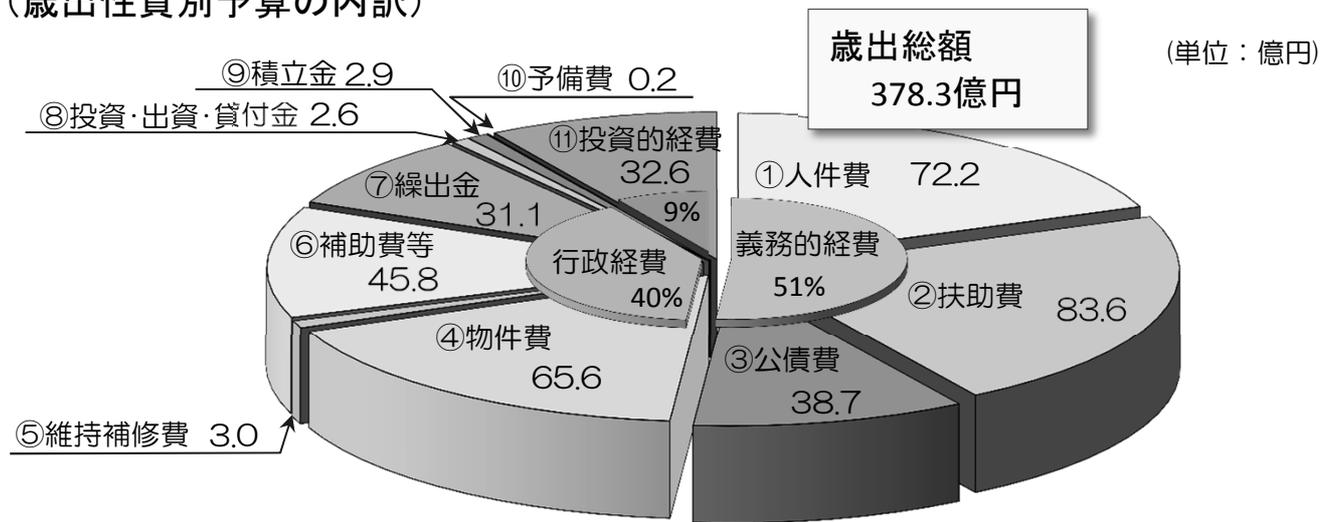
- ・市民病院会計支出金 22.0億円(-1.0億円)
- ・定期接種 3.0億円(+0.4億円)
- ・ごみ処理施設営繕費 1.4億円(+0.3億円)

### 3 歳出予算の内訳(性質別)

(単位:千円)

科 目 名		平成30年度 当初予算額	平成31年度 当初予算額	増減額 (31年-30年)	増減率
義 務 的 経 費	① 人 件 費	7,230,187	7,225,160	△ 5,027	△ 0.1 %
	② 扶 助 費	7,988,521	8,359,699	371,178	4.6 %
	保育施設等給付費	2,319,734	2,565,771	246,037	10.6 %
	児童扶養手当給付費	282,535	344,788	62,253	22.0 %
	その他扶助費	5,386,252	5,449,140	62,888	1.2 %
	③ 公 債 費	3,880,134	3,866,341	△ 13,793	△ 0.4 %
	通常償還分	3,542,021	3,543,301	1,280	0.0 %
	立替施行借換分	338,113	323,040	△ 15,073	△ 4.5 %
計	19,098,842	19,451,200	352,358	1.8 %	
行 政 経 費	④ 物 件 費	6,444,055	6,557,304	113,249	1.8 %
	⑤ 維 持 補 修 費	230,842	302,587	71,745	31.1 %
	⑥ 補 助 費 等	4,796,633	4,584,635	△ 211,998	△ 4.4 %
	市民病院会計支出金	2,297,467	2,200,000	△ 97,467	△ 4.2 %
	水道・下水道会計支出金	977,022	876,366	△ 100,656	△ 10.3 %
	その他補助費等	1,522,144	1,508,269	△ 13,875	△ 0.9 %
	⑦ 繰 出 金 (国民健康保険・ 介護保険事業会計等)	3,044,189	3,111,421	67,232	2.2 %
	⑧ 投資・出資・貸付金	317,199	261,969	△ 55,230	△ 17.4 %
	⑨ 積 立 金	313,159	290,695	△ 22,464	△ 7.2 %
	⑩ 予 備 費	20,000	15,000	△ 5,000	△ 25.0 %
計	15,166,077	15,123,611	△ 42,466	△ 0.3 %	
⑪ 投 資 的 経 費	補 助 事 業 費	571,915	1,423,547	851,632	148.9 %
	小・中学校施設改修事業	0	432,212	432,212	皆増
	その他補助事業	571,915	991,335	419,420	73.3 %
	単 独 事 業 費	1,287,654	1,065,377	△ 222,277	△ 17.3 %
	消防救急車両整備事業	220,000	35,000	△ 185,000	△ 84.1 %
	その他単独事業	1,067,654	1,030,377	△ 37,277	△ 3.5 %
	立 替 施 行 償 還 金	786,512	770,265	△ 16,247	△ 2.1 %
計	2,646,081	3,259,189	613,108	23.2 %	
合 計	36,911,000	37,834,000	923,000	2.5 %	

(歳出性質別予算の内訳)

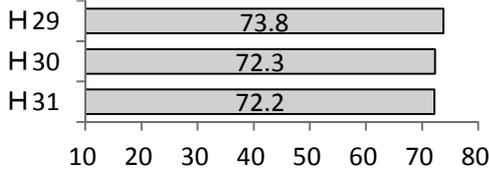


内訳は主な経費(増減額)

①人件費 (前年度比 -0.1億円、-0.1%)

- ・給与費(給料+職員手当) 46.7億円(+0.3億円)
- ・退職手当組合負担金 4.5億円(-0.1億円)

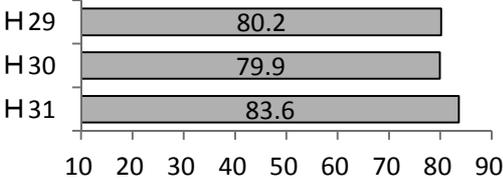
◎人件費の推移 (単位：億円)



②扶助費 (前年度比 +3.7億円、+4.6%)

- ・施設型給付費 14.5億円(+2.1億円)
- ・児童扶養手当給付費 3.4億円(+0.6億円)
- ・子育て支援医療費助成 4.1億円(-0.3億円)

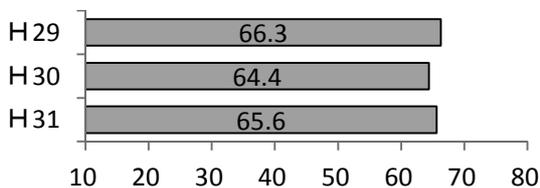
◎扶助費の推移 (単位：億円)



④物件費 (前年度比 +1.1億円、+1.8%)

- ・固定資産評価事業費 0.6億円(+0.4億円)
- ・定期接種 3.0億円(+0.4億円)
- ・図書館管理運営費 2.2億円(-0.5億円)

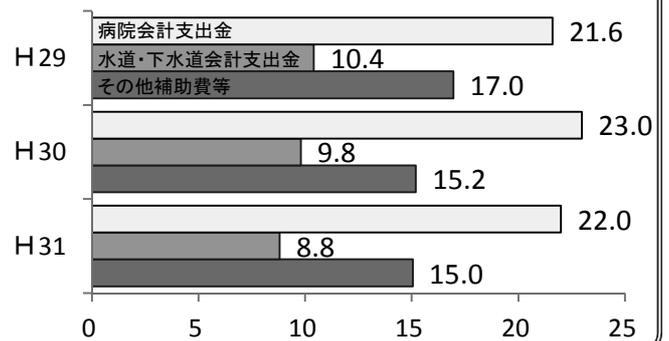
◎物件費の推移 (単位：億円)



⑥補助費等 (前年度比 -2.1億円、-4.4%)

- ・市民病院会計支出金 22.0億円(-1.0億円)
- ・下水道会計支出金 8.6億円(-0.9億円)
- ・私立幼稚園就園奨励費 0.7億円(+0.2億円)

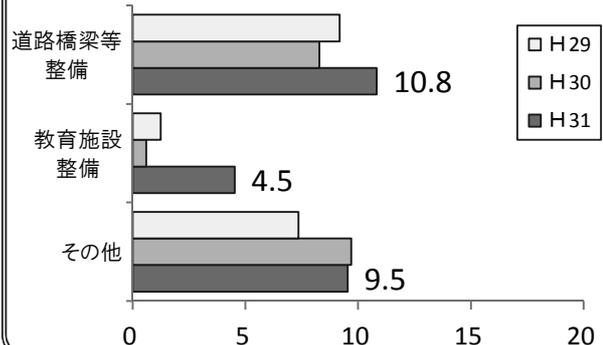
◎補助費等の内訳 (単位：億円)



⑪投資的経費(前年度比 +6.1億円、+23.2%)

- ・中学校施設改修事業費 3.8億円(+3.4億円)
- ・福島土地区画整理事業 2.6億円(+1.4億円)
- ・地域介護拠点整備補助事業費 2.1億円(+1.9億円)
- ・橋梁長寿命化関連事業費 3.2億円(+2.5億円)
- ・消防救急車両整備事業 0.4億円(-1.9億円)

◎主な投資的経費の推移 (単位：億円)



# V 成熟都市の実現に向け、未来への道筋を示すまちづくり ～明日の風がみえるまちへ～

## 1 持続可能な歳出構造へ転換を図る

### (1) 基本的な考え方

将来にわたって三田市が「住み続けたいまち」となるためには、財政の健全化及び安定化が重要な要件です。しかしながら、平成30年5月に公表した「中期財政収支見通し2018」では、単年度で最大6億円を超える収支不足が予想されており、また今後市税などの歳入の増加が見込まれない以上、基金残高が減少しつつある現状においては、歳出をいかに抑制するかが重要かつ喫緊の課題となっています。

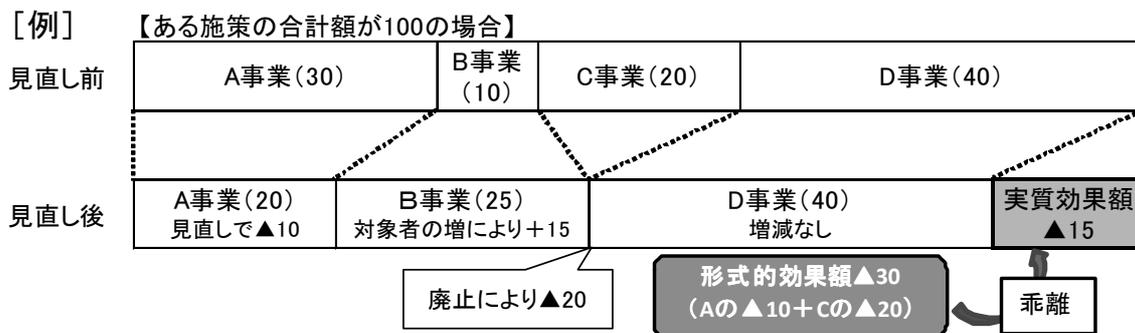
このことを踏まえ、31年度予算編成では、一般財源（使途が特定されていない歳入等）ベースでの歳出総額を予測される歳入の範囲内に収めるため、目標を257.5億円に設定するとともに、人件費、投資的経費、他会計支出金、経常的経費等の歳出の類型ごとに定めた上限額を目標に予算編成を行いました。

このうち、経常的経費については、「選択と集中」の具体的なルール（「スマートセレクト」）に基づき、スマートセレクト対象経費として、限られた経営資源を適正に配分する取り組みを行いました。

### (2) スマートセレクトの考え方について

スマートセレクトは、施策全体を俯瞰し、本市にとって必要な事業には積極的に予算を配分した上で、各施策内における事業の優先順位を考慮することなどにより歳出全体のコントロールを図るものであり、個々の事業のみに着目して経費の削減を行うものではありません。

個々の事業のみに着目すると、施策全体からの視野に立った見直しが困難になるとともに、歳出抑制の観点からも形式的な効果額と実質的な効果額に乖離があるため、最終的には想定した効果が上がらないこともあり得ます（下図参照）。



スマートセレクトは、国や県の制度改正、事業対象者の増減等の前提条件や、これから市が取り組むべき新たな課題や社会的ニーズに対応する経費の増額分などを踏まえて行うため、その効果額には、事業内容の変更や廃止、事業経費の削減などの減少要因だけでなく、新規又は拡充のような増加要因も含まれています。そして、その効果は、新年度（31年度）と前年度（30年度）の一般財源ベースの歳出の増減額によって測ることとしています。

### (3) 平成31年度当初予算フレームについて（一般財源ベース）

31年度当初予算の一般財源は257.7億円となり、目標フレームの257.5億円を0.2億円超過しましたが、30年度当初予算と比べて全体で1.9億円を抑制することができました。また、中長期的な視点で歳入の増加や歳出の抑制につながる「未来への投資枠・事務改善枠」にかかる事業や、今後の公共施設の改修・更新に必要な経費の増嵩に備えるための基金

積立にかかる予算を計上することができました。

今後も中期財政収支見通しを踏まえ、スマートセレクトの手法等を用いることにより健全な財政を堅持することで、社会経済状況や行政ニーズの変化等に適切に対応した施策や事業を展開できる環境を整えることとします。

平成 31 年度当初予算フレーム(一般財源ベース)

【単位：億円】

	H30当初予算 (a)	H31当初 目標フレーム (b)	H31当初予算 (c)	当初予算対比 (c)-(a)	目標フレーム 対比 (c)-(b)
①スマートセレクト対象経費 (新規拡充を含む)	81.5	79.2	79.2	△ 2.3	0.0
②未来への投資枠、事務改善枠 ③臨時的経費 ④投資的経費	7.3	7.8	9.0	1.7	1.2
⑤人件費	69.5	69.0	69.4	△ 0.1	0.4
⑥公債費、立替施行償還金	45.6	45.4	45.3	△ 0.3	△ 0.1
⑦他会計支出金	53.0	52.0	51.6	△ 1.4	△ 0.4
⑧調整財源+公共施設マネジメント 対応財源	0.0	1.4	0.5	0.5	△ 0.9
⑨議会費	2.7	2.7	2.7	0.0	0.0
合 計	259.6	257.5	257.7	△ 1.9	0.2

①スマートセレクト対象経費

対象事業は、30 年度当初予算における各施策の経常的な経費、500 万円未満の臨時的経費及び一部の投資的経費（計 903 事業）で、30 年度当初予算と比べて全体で 2.3 億円減少しました。

【内訳】

(単位：千円)

区分	事業数	H30 当初予算 (一般財源ベース)	H31 当初予算 (一般財源ベース)	増減額 (H31-H30)
新規・拡充等	34	27,339	55,382	28,043
見直し※1	3	18,912	11,047	△7,865
その他増減	866	8,111,805	7,860,050	△251,755
合 計	903	8,158,056	7,926,479	△231,577

※1 実施要件の見直し等(廃止を含む。)を行ったもので、市民に影響があると判断するもの

- ・市民センターまつり開催費補助金の廃止 △241 万円(H30 公表済)
- ・再生資源集団回収運動奨励金の見直し △523 万円(H30 公表済)
- ・ふれあいプール無料開放日の廃止 △23 万円

②未来への投資枠、事務改善枠対象事業

区分	事業名等	H31 当初予算 (一般財源ベース)	職員 提案※2
未来への投資枠	インキュベーション施設開設補助事業	275 万円	
	地場産レストラン整備事業	660 万円	
	G I S の活用	53 万円	○
事務改善枠	R P A の導入	409 万円	
	音声認識技術の導入	141 万円	○
	公用車の一括管理による効率化	—	
	インターネット公売の推進	—	○

※2 行政の効率化や市民サービスの向上に寄与することを目的に、組織の枠組みや担当業務に捉われず、市職員が自由な発想で行う多様な事業提案について、予算化等したものを。

## 2 成熟都市へのあゆみを着実なものとする

### (1) 地域の創生

#### ア 地域コミュニティと協働

##### ①【新】地域計画策定支援事業（協働推進課）

###### 《事業の目的》

地域の目標となるまちの将来像を地域住民で共有し、地域課題の可視化や住民による解決に向けての取り組みなどを長期的視点でまとめた計画（地域計画）の策定に取り組むまちづくり協議会を支援することにより、住民主体のまちづくりの推進を図ります。

###### 《事業の内容》

- ◆ 地域計画策定のためのコーディネーター派遣費用

※市民活動基金を活用して実施します。

事業費		135万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	135万円
	市税等	

#### イ 子育て支援

##### ①【拡】保育士確保対策事業（こども支援課）

###### 《事業の目的》

市内私立保育所、認定こども園、小規模保育施設が行う保育士のための宿舎借上げに要する費用を補助することで、保育士の確保・定着を図り、待機児童の解消を目指します。

###### 《事業の内容》

- ◆【新】宿舎借上げ補助 495万円
- ◆事務費等 10万円

事業費		505万円
財源	国・県	330万円
	市債	
	その他	
	市税等	175万円

##### ②【拡】放課後児童健全育成事業（こども政策課）

###### 《事業の目的》

共働き家庭の増加や就労形態の多様化を背景として、増え続ける放課後児童クラブの利用ニーズに応えるため、余裕教室を改修して新たに児童クラブを開設するとともに、直営による運営に加え、民間活力の導入を図ることにより、安定的かつ継続的な運営体制を確保します。

###### 《事業の内容》

- ◆ 広野児童クラブ整備工事費用 416万円
- ◆ けやき台第2児童クラブ外壁修繕工事費用 186万円
- ◆ 放課後児童クラブ指定管理委託料 3,507万円

事業費		4,109万円
財源	国・県	2,047万円
	市債	
	使用料	1,038万円
	市税等	1,024万円

## ウ 教育の充実

### ①【拡】IT教育推進事業（学校教育課）

#### 《事業の目的》

子どもたちの学びに対する興味・関心を高め、情報を主体的に収集・活用し、わかりやすく発信する力を育成するためにICT機器を拡充整備し、授業での活用を進めます。

#### 《事業の内容》

- ◆ デジタル教科書の整備（英語・歴史・地理） 87万円
- ◆ 大型モニタ等の設置（36台） 1,260万円  
※設置済みのモニタと併せて、中学1～3年生のすべての普通教室に設置します。
- ◆ 中学校PCルーム更新（2in1タブレットPC導入） 1,018万円
- ◆ 教育用マイクロビット配置（各中学校40台） 86万円

※ありがとう！三田っ子応援基金を活用して実施します。

事業費		2,451万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	1,191万円
	市税等	1,260万円

### ②【新】部活動指導員配置事業（学校教育課）

#### 《事業の目的》

中学校における部活動指導体制の充実を促進し、部活動指導の質的な向上を図るとともに、部活動を担当する教員の負担軽減のため、部活動指導員を中学校に配置します。（平成31年度は4名）

#### 《事業の内容》

- ◆ 部活動指導員への報酬

事業費		176万円
財源	国・県	104万円
	市債	
	その他	
	市税等	72万円

### ③【拡】スクールソーシャルワーカーの増員（学校教育課）

#### 《事業の目的》

複雑化・多様化している児童生徒が抱える課題に対して、福祉の専門家を派遣し、家庭や地域、関係機関とのネットワーク強化を図ります。平成31年度は全8中学校区に配置します。（30年度：6中学校区）

#### 《事業の内容》

- ◆ スクールソーシャルワーカーへの報償費

事業費		1,193万円
財源	国・県	262万円
	市債	
	その他	
	市税等	931万円

#### ④【新】医療的ケアが必要な児童生徒への通学支援事業（教育総務課）

##### 《事業の目的》

ひまわり特別支援学校に通う医療的ケアが必要な児童生徒の安全な通学及び送迎にかかる保護者負担の軽減をめざし、看護師が同乗した介護タクシーによる通学支援を試験的に開始します。

##### 《事業の内容》

- ◆ 医療的ケアが必要な児童生徒の通学支援委託（月1回程度の利用を予定（登校時））

※ありがとう！三田っ子応援基金を活用して実施します。

事業費		35万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	35万円
	市税等	

#### ⑤【拡】小学校施設改修事業（エレベーター設置）（教育総務課）

##### 《事業の目的》

障がいのある児童が安全かつ円滑に学校生活を送ることができるよう、学校施設のバリアフリー化に向けた整備を実施します。

##### 《事業の内容》

- ◆ 設置校 けやき台小学校（1基）

事業費		5,351万円
財源	国・県	542万円
	市債	4,780万円
	その他	
	市税等	29万円

#### ⑥【拡】小学校・幼稚園空調設備設置（教育総務課）【繰越事業】

##### 《事業の目的》

近年の猛暑から児童の生命を守り、教育環境の改善を図るため、小学校・幼稚園の全ての普通教室・保育室に空調設備を設置します。

##### 《事業の内容》

- ◆ 設置数 小学校 256 教室 幼稚園 23 室

事業費		6億2,195万円
財源	国・県	1億2,977万円
	市債	4億9,070万円
	その他	
	市税等	148万円

#### ⑦【拡】学校給食食器更新（学校給食課）

##### 《事業の目的》

現在使用している耐熱ABS樹脂食器が経年劣化してきたため、耐熱性・耐久性が高く、色素沈着にも強いPEN樹脂食器に更新し、引き続き安全安心な給食を提供していきます。

##### 《事業の内容》

- ◆ ゆりのき台給食センターPEN樹脂給食食器更新（リース料）  
（清水山給食センター分は更新済み）

※ありがとう！三田っ子応援基金を活用して実施します。

事業費		196万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	196万円
	市税等	

## エ 産業創造戦略

### ①【新】起業家育成海外インターンシップ事業（産業政策課）

#### 《事業の目的》

市内の創業意欲のある若者を対象に、ニューメキシコ大学技術移転&経済開発事務所での起業家育成プログラムを受講する機会を提供し、若手起業家の育成を推進します。

事業費		100万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	100万円

#### 《事業の内容》

- ◆ 起業家育成プログラム受講料（4名分） 48万円
- ◆ 事前プログラム経費 40万円
- ◆ その他事務費等 12万円

### ②【新】インキュベーション施設開設補助事業（産業政策課）

#### 《事業の目的》

起業家のスタートアップ、アフターフォロー等の創業支援体制の充実と、起業家等が交流する拠点づくりを推進します。

事業費		275万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	275万円

#### 《事業の内容》

コワーキングスペース、レンタルオフィス、相談窓口等の機能を有するインキュベーション施設の整備に対する補助。

- ◆ 開設時期 平成32年4月（予定）

### ③【新】若者企業就労マッチングバスツアー（産業政策課）

#### 《事業の目的》

大学生等の若者に市内企業の魅力を発信し、市内企業への就労を促進します。

事業費		10万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	10万円

#### 《事業の内容》

市内企業と若者をマッチングするために、バスツアー形式で各企業を訪問します。

#### ④ 【新】プレミアム付商品券発行事業（産業政策課）

##### 《事業の目的》

消費税 10%への引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするために、プレミアム付商品券を発行します。

##### 《事業の内容》

- ◆ 対象者 (1)平成 31 年 1 月 1 日時点の住民のうち、平成 31 年度の住民税が非課税である者（住民税課税者の生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護受給者等を除く）  
(2)平成 31 年 6 月 1 日時点の住民のうち、平成 28 年 4 月 2 日以降に生まれた子が属する世帯の世帯主
- ◆ 購入限度額 (1)利用可能額 2.5 万円（購入額 2 万円）  
(2)利用可能額 2.5 万円（購入額 2 万円）×同一世帯の上記(2)の子の数
- ◆ 割引率 20%（プレミアム補助額 5 千円）
- ◆ 利用可能期間 平成 31 年 10 月～32 年 3 月まで（予定）

事業費		1 億 582 万円
財源	国・県	1 億 582 万円
	市債	
	その他	
	市税等	

※事業の詳細については、今後、変更となる可能性があります。

### 才 農業振興

#### ① 新規就農支援（農業創造課）

##### 《事業の目的》

持続可能な農業を実現していくため、新規就農者への支援を行い、農業の担い手確保と育成を図ります。

##### 《事業の内容》

- ◆ 親方農家研修受け入れ経費助成 30 万円  
認定農業者などが「農業の親方」となり、就農希望者を研修生として受け入れる場合に、1 名につき 5 万円を助成します。
- ◆ 就農開始応援助成 300 万円  
新規就農者（認定から 2 年以内の認定新規就農者）に対し、就農初期に必要な経費（農業機械や設備導入など）として、1 名につき上限 50 万円を助成します。

事業費		330 万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	330 万円

#### ② 南丹・北摂地域鳥獣被害防止対策連絡協議会支援補助事業（農村整備課）

##### 《事業の目的》

市内の農業などへの鳥獣被害軽減のため、南丹・北摂地域鳥獣被害防止対策連絡協議会が実施する集落柵等の設置に対して補助を行い、鳥獣被害対策を進めます。

##### 《事業の内容》

- ◆ 集落ぐるみの鳥獣被害対策として、集落全体を金網柵で囲む集落柵の設置を行います。
- ◆ 南丹・北摂地域鳥獣被害防止対策連絡協議会支援補助
  - ・平成 31 年度実施予定地区 山田地区
  - ・実施内容 金網柵設置：5,200m  
門扉設置：48 基

事業費		990 万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	990 万円

### ③ 農畜産物のブランド力強化・消費拡大支援（農業創造課）

#### 《事業の目的》

市内外の消費者に三田産の農畜産物・加工品の品質や特徴をPRし、消費拡大と産地としての認知度を高め、地域ブランドの確立を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆ マルシェ事業 37万円  
都市部などで農産物の販売・PRを行います。
- ◆ ファームマイレージ運動 108万円  
地場産品の購入にポイントを付与することで、消費者・生産者が一体となった地産地消の取り組みを行います。
- ◆ 三田産農畜産物魅力発信事業 30万円  
湊川短期大学との連携により、母子茶の魅力を発信します。

事業費		175万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	175万円

### ④ 畜産経営基盤強化支援事業（農業創造課）

#### 《事業の目的》

子牛価格高騰による畜産経営の悪化に対応するため、繁殖用牛の導入助成と、繁殖によって生じる業務量の増加を緩和するヘルパー利用に対する助成を行うことにより、生産体制の強化と繁殖・肥育の一貫経営を推進します。

#### 《事業の内容》

- ◆ 【拡】繁殖用牛導入助成 300万円  
繁殖用として新たに導入する優良牛1頭あたり15万円を助成します。申請者毎に年度内2頭までとします。
- ◆ ヘルパー利用助成 15万円  
繁殖用牛を導入する酪農家に対し、ヘルパー利用に要する経費の1/2以内を助成します。申請者毎に年度内5万円までとします。

事業費		315万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	315万円

### ⑤ ため池の保全・改修事業（農村整備課）

#### 《事業の目的》

ため池の点検や老朽ため池の改修を実施し、ため池の適切な保全管理を行うことで、ため池災害の未然防止を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆ ため池改修実施設計業務（市単独土地改良事業） 680万円  
老朽ため池の改修実施設計業務を行います。
- ◆ 遠谷中池ため池改修実施設計業務（県営ため池整備事業） 160万円
- ◆ 農村地域防災減災事業 2,270万円  
市内ため池の点検業務、ため池廃止に向けた調査設計業務、特定外ため池諸元調査業務、ため池マップ作成業務を行います。

事業費		3,110万円
財源	国・県	1,670万円
	市債	
	その他	
	市税等	1,440万円

## カ 文化・スポーツの充実

### ①【新】文化ビジョン策定事業（文化スポーツ課）

#### 《事業の目的》

検討委員会を設置し、総合文化センターの管理運営を含めた市の文化施策における基本的な方針「(仮称)三田市文化ビジョン」を策定します。

#### 《事業の内容》

- ◆ 文化ビジョン検討委員会に係る経費 48万円
- ◆ 文化ビジョン策定支援業務等委託 200万円

事業費		248万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	248万円

### ②【新】スポーツ「夢」プロジェクト推進事業（文化スポーツ課）

#### 《事業の目的》

子どもたちにトップアスリート等に関わる機会を設け、夢や希望を持って、スポーツに取り組む意欲の向上を図ります。また、大学連携による学生からの実技指導により子どもたちのスポーツ技術の向上を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆ トップアスリート招待経費 17万円
- ◆ 大学連携スポーツ教室会場使用料等 34万円

事業費		51万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	51万円

### ③【拡】ファミリー・スポーツ・カーニバル&市民チャレンジデーの開催（文化スポーツ課）

#### 《事業の目的》

子どもから高齢者、障がいのある人まで全ての市民が気軽に参加でき、スポーツの楽しさを再発見し交流できる機会づくりとして、市民チャレンジデーとあわせてファミリー・スポーツ・カーニバルを開催します。

#### 《事業の内容》

- ◆【新】ファミリー・スポーツ・カーニバル 45万円
- ◆ 市民チャレンジデー 40万円

事業費		85万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	85万円

### ④【拡】心道会館空調設備設置事業（文化スポーツ課）

#### 《事業の目的》

住宅に隣接している周辺環境から夏場の暑さ対策として武道場で安全に運動ができるよう、心道会館に空調設備を設置します。

#### 《事業の内容》

- ◆ 空調設備設置工事

※公共施設等整備基金を活用して実施します。

事業費		1,116万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	1,116万円
	市税等	

## キ まちのブランド創造

### ① 地場産レストラン整備事業（まちの再生課）

#### 《事業の目的》

県立有馬富士公園内に三田の豊かな自然環境と質の高い農畜産物の魅力を発信する拠点施設（地場産レストラン）の整備を目指します。サウンディング調査の結果を踏まえて、事業の適正規模や成立要件等を探り、事業化に向けた取組みを進めます。

#### 《事業の内容》

- ◆ 事業化支援業務委託

事業費		660万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	660万円

## (2) まちの再生

### ア 里山及び環境の保全

### ① 【新】里山と共生するまちづくり推進事業（里山のまちづくり課）

#### 《事業の目的》

人々の生活の営みの中で形成されてきた里山との関係を、今の時代に即したものに築き上げ、里山からの恵みを将来にわたり享受できるように里山と共生するまちづくりに取り組みます。

#### 《事業の内容》

- ◆ 資源循環型竹林整備補助事業 80万円  
放置された竹林において、竹林整備を行うとともに伐採された竹を循環型の資源として活用を図るため、実施事業者に対して支援を行います。
- ◆ 神戸市との里山連携協定推進事業 30万円  
神戸市と締結した里山等に関する連携協定に基づき、両市の里山を基点とする市民交流イベントの開催や保全団体の相互交流などを行います。

事業費		110万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	110万円

### ② 【新】林道大根谷線舗装整備事業（農村整備課）

#### 《事業の目的》

大根谷林道の舗装整備を行うことで、災害等による今後の被害軽減を図ります。

#### 《事業の内容》

平成30年7月以降の台風・大雨被害で損傷が見られる舗装を整備するとともに、コンクリート舗装化を順次すすめていきます。

事業費		670万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	670万円

### ③【拡】路上喫煙禁止区域拡大事業（環境衛生課）

#### 《事業の目的》

改正健康増進法が成立したことを受け、多くの人々が行き交う市内の主要駅周辺で、たばこの吸い殻やごみのポイ捨て、路上喫煙による被害を防止することを目的に、路上喫煙禁止区域を拡大します。

#### 《事業の内容》

- ◆ 路上喫煙禁止区域の拡大  
（追加）相野駅・横山駅・フラワータウン駅・南ウッディタウン駅・ウッディタウン中央駅の周辺  
（既存）三田駅・新三田駅の周辺
- ◆ 三田駅喫煙可能場所の移転費用、路上喫煙禁止区域拡大の周知（看板、路面シールなど）

事業費		58万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	58万円

### ④ 新ごみ処理施設整備基本構想策定業務（クリーンセンター）

#### 《事業の目的》

現在のごみ処理施設であるクリーンセンターは、平成4年の竣工から26年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、将来にわたって適正なごみ処理を行うため、新ごみ処理施設の整備に向けた検討を継続して行います。

#### 《事業の内容》

平成30年度から31年度の2か年で新施設整備基本構想の策定を行います。

- ◆ 検討項目
  - ・ごみ処理体系
  - ・計画処理量・施設規模
  - ・新施設における処理方式等
  - ・事業スケジュール

事業費		198万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	198万円

### ⑤ 合葬墓の整備（環境衛生課）

#### 《事業の目的》

少子高齢化や核家族化などにより、お墓に関する意識が変化している中で、市民ニーズに対応するために、合葬墓の整備を公営墓地整備事業特別会計において進めます。

#### 《事業の内容》

平成30年度から31年度の2か年で合葬墓の設計業務を行います。

※合葬墓・・・承継を前提とせずに、一つの大きなお墓に共同で埋蔵する方式のお墓。

事業費		711万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	711万円

## イ 景観の形成・保全

### ① 景観重要建造物修景助成事業（都市計画課）

#### 《事業の目的》

良好な景観形成に重要となる建造物を景観重要建造物に指定し、その外観の修景にかかる費用の一部を助成することで、地域の個性ある景観づくりの核となる建造物の維持、保全及び継承を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆ 景観重要建造物修景助成事業

事業費	190万円	
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	190万円

### ② 古民家等再生利活用促進事業（まちの再生課）

#### 《事業の目的》

農村地域の茅葺民家や既成市街地の町家等の歴史的建築物（「古民家等」という）をレストランや宿泊施設、創作活動施設等として活用することを促進し、古くからの歴史的・文化的景観の保全と地域の活性化、賑わいの創出を図ります

#### 《事業の内容》

- ◆ 古民家等再生利活用促進事業
  - ・モデル物件事業計画立案・地域調整
  - ・古民家等改修助成 など

事業費	2,273万円	
財源	国・県	1,135万円
	市債	
	その他	
	市税等	1,138万円

## ウ 都市基盤整備

### ① 三田駅前Cブロック地区推進事業（都市整備課）

#### 《事業の目的》

Aブロック（キッピーモール）、Bブロック（三田駅前ハートシティ）、Dブロック（レバンテ三田）との相乗効果により、三田駅前の活性化と都市機能の充実を図るため、Cブロック地区の整備を推進します。

#### 《事業の内容》

- ◆ 緑三田駅南北線（駅前1号橋）耐震性能照査業務  
Cブロック地区整備に伴うデッキの拡張に先立ち、既設デッキの耐震性能照査を行い、耐震補強の必要性、対策工法について検討を行います。

事業費	1,150万円	
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	1,150万円

### ② 福島土地区画整理事業（都市整備課）

#### 《事業の目的》

新三田駅周辺において、土地区画整理事業を行うことにより、サービス施設などが立地する地域核（生活拠点）の形成を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆ 駅東ロータリー用地費負担金
- ◆ 駅東ロータリー工事費
- ◆ 事務費等

事業費	2億6,020万円	
財源	国・県	8,000万円
	市債	1億7,920万円
	その他	
	市税等	100万円

7,822万円  
1億8,100万円  
98万円

### ③ 相野駅北地区・対中町地区・広野地区まちづくり計画（都市整備課）

#### 《事業の目的》

市民が取り組まれている地域に根ざしたまちづくり活動の推進を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆ 相野駅北地区土地区画整理基本設計業務
- ◆ 対中町地区まちづくり検討業務
- ◆ 広野地区土地区画整理設計業務

事業費		2,156万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	2,156万円

1,327万円  
300万円  
529万円

### ④ 公園施設長寿命化事業（公園みどり課）

#### 《事業の目的》

公園施設長寿命化計画に基づき、施設を計画的に補修・更新を行うことにより施設の長寿命化を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆ 公園施設長寿命化対策工事（木製複合遊具更新や遊具消耗品交換等）

事業費		3,169万円
財源	国・県	1,200万円
	市債	1,200万円
	その他	
	市税等	769万円

### ⑤ 都市公園等管理運営事業（公園みどり課）

#### 《事業の目的》

地域の公園に愛着を持ち、管理を行う地域団体と市が協定を締結し、除草作業などを行った地域団体に対して報償金を支払います。これにより、公園の適正管理とコミュニティの活性化を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆ 軽易作業：公園の清掃、遊具等の異常の通報等
- ◆ 除草作業：機械などを用いた公園の全面除草（年2回以上）

事業費		821万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	821万円

## エ 交通ネットワーク

### ① 【新】交通計画推進事業（交通まちづくり課）

#### 《事業の目的》

三田市地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通の機能強化や利便性の向上に取り組めます。

#### 《事業の内容》

- ◆ 調査費 50万円
- ◆ 協議会開催経費 20万円

事業費		70万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	70万円

## ②【拡】地域外出支援おでかけサポート事業（交通まちづくり課）

### 《事業の目的》

地域活動と連携した新たな地域内交通の導入に向けて、「組織づくり」と「活動」にかかる支援を推進します。

### 《事業の内容》

- ◆【新】地域外出支援活動事業補助金 40万円
- ◆地域外出支援活動組織づくり補助金 30万円
- ◆事務費 2万円

事業費		72万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	72万円

## ③ 道路橋梁の安全確保（道路河川課）

### 《事業の目的》

市道を安全で快適に利用できるよう、道路の修繕工事や街路灯のLED化、歩道の根上りや通学路の安全対策などを進めます。

### 《事業の内容》

- ◆街路灯維持管理事業（LED化） 371万円
- ◆道路橋梁修繕事業 6,878万円
- ◆道路リフレッシュ事業（歩道の根上り対策、景観舗装等） 3,434万円
- ◆交通安全施設維持補修事業（通学路安全対策、自転車レーン整備事業等） 2,728万円

事業費		1億3,411万円
財源	国・県	1,964万円
	市債	3,290万円
	基金	5,864万円
	市税等	2,293万円

※ニュータウン施設整備管理基金を活用して実施します。

## ④ 道路新設改良事業（道路河川課）

### 《事業の目的》

市道拡幅工事や待避所設置工事等を実施することにより、通行の安全性確保と利便性向上を図ります。

### 《事業の内容》

事業名	予算額	主な事業
下相野広野線	1億6,195万円	用地買収・工事等
下相野広野線関連線	3,000万円	用地買収・工事
清楽寺尼子線	300万円	工事
三輪山田線	2,750万円	用地買収・工事等
三輪香下線	1,100万円	設計業務
待避所設置事業	400万円	設計業務

事業費		2億3,745万円
財源	国・県	8,085万円
	市債	1億3,900万円
	その他	
	市税等	1,760万円

### ⑤ 橋梁長寿命化関連事業等（道路河川課）

#### 《事業の目的》

三田市橋梁長寿命化修繕計画や舗裝修繕計画に基づき、点検と修繕等を計画的に実施することで、橋梁等の長寿命化を図ります。

事業費		3億5,910万円
財源	国・県	1億7,851万円
	市債	1億3,220万円
	その他	
	市税等	4,839万円

#### 《事業の内容》

- ◆ 橋梁長寿命化関連事業 3億4,866万円
- ◆ 道路インフラ定期点検関連事業 1,044万円

## (3) 人と人との共生

### ア 人と人とのつながり

#### ①【拡】障害者虐待防止対策事業（障害福祉課）

#### 《事業の目的》

平成30年の障害者虐待事案を受けて、障害者虐待の防止と緊急時の支援体制の強化を図ります。

事業費		50万円
財源	国・県	37万円
	市債	
	その他	
	市税等	13万円

#### 《事業の内容》

- ◆ 研修等開催経費 30万円
- ◆ 弁護士・社会福祉士専門相談 20万円

#### ②【新】手話施策推進補助事業（障害福祉課）

#### 《事業の目的》

市主催の手話教室への参加者のフォローアップ及びステップアップのための支援を行うことにより、「三田市みんなの手話言語条例」に基づく施策を推進します。

事業費		8万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	8万円

#### 《事業の内容》

- ◆ 意思疎通支援者の派遣に係る費用の助成

## イ 地域医療・介護

### ① 市民病院事業会計支出金（財政課）

#### 《事業の目的》

三田市民病院は地域の中核病院として救急を中心とする急性期医療を担っており、地域医療に貢献しています。

今後も良質な高度医療で、地域に安心な医療を提供し市民のみなさんの支えとなる病院であり続けるため、一般会計からの支援を行います。

事業費		22億円
財源	国・県	
	市債	
	繰入金	5億円
	市税等	17億円

#### 《事業の内容》

- ◆ 地方公営企業への繰出基準に基づくもの 15億7,225万円
  - ・救急医療に要する経費 3億6,131万円
  - ・高度利用に要する経費 1億4,375万円
  - ・小児医療に要する経費 6,853万円
  - ・建設改良に係る企業債の償還経費等 9億9,866万円
- ◆ 市独自支援 1億2,775万円
  - ・市民病院経営安定化支援分 1億555万円
  - ・市への看護師派遣分 1,920万円  
(ひまわり特別支援学校、休日応急診療センターへの派遣)
  - ・医師確保就学資金貸与制度 300万円
- ◆ 資金貸付 5億円
  - ・市民病院事業会計の現金収支が不足する見込みのため、事業資金として一般会計から貸付を行います。  
財源は、水道事業会計からの繰入金（借入金）で対応します。

### ② 【拡】地域介護拠点整備補助事業（介護保険課）

#### 《事業の目的》

認知症対応型グループホーム、特別養護老人ホーム等の整備や開設準備に要する経費等の一部を補助することにより、介護サービス基盤の充実を図ります。

事業費		2億990万円
財源	国・県	2億975万円
	市債	
	その他	
	市税等	15万円

#### 《事業の内容》

- ◆ 【拡】施設整備関係補助 2億975万円
- ◆ 介護保険施設等事業者選考委員会委員報酬 10万円
- ◆ 事務費等 5万円

## ウ 健康福祉の充実

### ①【拡】女性がん検診の拡充(乳房超音波検査の導入) (健康増進課)

#### 《事業の目的》

40歳以上の方のマンモグラフィとの併用による検査精度の向上及び40歳未満の若年層の乳がんの早期発見のため、集団検診において乳房超音波(エコー)検査を導入することで、受診機会と検査手法の充実を図ります。

#### 《事業の内容》

##### ◆ 超音波検査実施費用

※受診希望者の実費負担により実施します。

事業費		127万円
財源	国・県	
	市債	
	諸収入	125万円
	市税等	2万円

### ②【新】新生児聴覚検査推進事業(健康増進課)

#### 《事業の目的》

先天性の聴覚障害を早期発見し、適切な医療に繋ぐため、新生児聴覚検査の目的・必要性を周知するとともに市民税非課税世帯を対象とした受検費用の補助を実施することにより、受検率向上や普及を図ります。

#### 《事業の内容》

##### ◆ 市民税非課税世帯への検査費用補助

9万円

##### ◆ その他事務費等

3万円

事業費		12万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	12万円

### ③【新】風しん定期予防接種(健康増進課)

#### 《事業の目的》

これまでに風しんの定期接種を受ける機会がなく、抗体保有率が低い、昭和37年4月2日～54年4月1日生まれの男性を対象に、無料で抗体検査及び予防接種を実施し、感染拡大防止を図ります。

#### 《事業の内容》

##### ◆ 抗体検査費用

2,900万円

##### ◆ 予防接種費用

830万円

##### ◆ その他事務費等

110万円

事業費		3,840万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	3,840万円

### ④【拡】高齢者肺炎球菌ワクチン定期予防接種(経過措置延長)(健康増進課)

#### 《事業の目的》

法改正に伴い、平成30年度末で終了予定であった経過措置が35年度まで延長されることとなり、65歳に加えて70歳から5歳刻みの年齢の未接種者に、引き続き肺炎球菌ワクチンの接種を実施し、感染・重症化予防を図ります。

#### 《事業の内容(経過措置分)》

##### ◆ 予防接種費用

230万円

##### ◆ その他事務費等

20万円

事業費		250万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	250万円

### ⑤【拡】 歯科口腔健診の推進（20歳の無料化）（健康増進課）

《事業の目的》

20歳から80歳まで5歳刻みの歯科口腔健診の自己負担額について、若年層の受診率が低いことから、現在無料の75歳と80歳に加え、20歳の自己負担を無料とすることで、健診の普及啓発及び受診率向上を図ります。

《事業の内容》

- ◆ 健診実施費用

事業費		57万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	57万円

## エ 安全・安心の確保

### ① 救急車の更新（消防本部）

《事業の目的》

市民の安全・安心を守る体制整備を図るため、老朽化した救急車両を更新します。

《事業の内容》

- ◆ 車両更新、救急活動用備品等購入費用及び事務費等

事業費		3,532万円
財源	国・県	
	市債	3,500万円
	その他	
	市税等	32万円

### ②【新】 緊急通報システム（NET119・三者通話）導入事業（消防本部）

《事業の目的》

聴覚・言語機能障害者が円滑に緊急通報ができるNET119緊急通報システムと外国人からの119通報を多言語コールセンターを介して通訳し、円滑に通報内容を把握する三者通話システムを導入します。

《事業の内容》

- ◆ NET119システム及び三者通話システム導入費用
- ◆ 初期登録手数料、月額通信費、事務費等

事業費		460万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	460万円

354万円  
106万円

### ③ 消防団の装備充実（消防本部）

《事業の目的》

地域防災力の中心的組織である消防団の装備を充実することにより、消防団の機能強化と地域防災体制の強化を図ります。

《事業の内容》

- ◆ 団員活動服等貸与物品

※自治総合センター助成金を活用して実施します。

事業費		300万円
財源	国・県	
	市債	
	諸収入	100万円
	市税等	200万円

**④【拡】防災倉庫資機材等整備事業（危機管理課）**

《事業の目的》

避難生活の環境改善としてアルミマット及び間仕切りを備蓄し、避難生活による身体的な負担の軽減やプライバシーの確保を図ります。

《事業の内容》

- ◆アルミマット、間仕切り一式

事業費	250万円
財源	国・県
	市債
	その他
	市税等

**⑤【拡】ハザードマップさんだ作成事業（危機管理課）**

《事業の目的》

土砂災害特別警戒区域や洪水浸水想定区域等の指定、公表によるハザードマップの更新を行います。また、新たにWeb版ハザードマップを構築し、スマートフォン等により、現在地の災害想定や最寄りの避難所が簡単に確認できるなど、多様な防災・災害情報を提供します。

《事業の内容》

- ◆ハザードマップ更新費用(紙版)
- ◆【拡】Web版構築費用

186万円  
141万円

事業費	327万円	
財源	国・県	150万円
	市債	
	その他	
	市税等	177万円

(4) その他

ア 行政サービスの向上

**①【新】ICT活用事業（RPA導入、GISの活用）（情報推進課）**

《事業の目的》

ICTの活用により事務の効率化を推進し、職員のマンパワーをより一層市民サポートなどへシフトすることで、市民サービスの向上を図ります。

《事業の内容》

- ◆RPA(業務の自動化)
- ◆GIS(地理情報システム)によるデータ利活用事業

409万円  
53万円

事業費	462万円
財源	国・県
	市債
	その他
	市税等

**②【新】音声認識技術の導入（情報推進課・学校教育課）**

《事業の目的》

音声文字として表示する音声認識技術を業務に導入することにより、聴覚に障がいのある方や外国の方とのコミュニケーション手段の確保や会議等の記録作成に係る業務効率化を図ります。

《事業の内容》

- ◆音声認識アプリ使用料
- ◆モバイル端末購入費及び使用料等

110万円  
31万円

事業費	141万円
財源	国・県
	市債
	その他
	市税等

## イ 公共施設マネジメント

### ① 公共施設維持補修費（各施設所管課）

#### 《事業の目的》

各施設の目的・用途等を考慮し、その機能を維持するとともに、利用者に安全、安心に施設を利用していただくために必要な改修等を行います。

事業費	3億1,181万円
財源	
国・県	1,511万円
市債	1億3,210万円
基金	3,320万円
市税等	1億3,140万円

#### 《事業の内容》

- ◆ 消防本部長期修繕計画に基づく修繕（消防本部） 3,600万円  
（財源：市債2,700万円、基金900万円）  
・庁舎受変電設備改修、庁舎浴室・給湯設備等改修等
- ◆ ごみ処理施設点検、修繕等（クリーンセンター） 1億4,000万円  
（財源：市債4,500万円、市税等9,500万円）  
・焼却炉・クレーン等の点検整備、炉内耐火材修繕等
- ◆ 聖苑維持補修（環境衛生課） 2,639万円  
（財源：市税等2,639万円）  
・火葬炉設備修繕、受電設備改修等
- ◆ 総合文化センター維持修繕（文化スポーツ課） 370万円  
（財源：市税等370万円）  
・舞台設備等の更新
- ◆ 各市民センター大規模修繕（協働推進課） 5,333万円  
・さんだ市民センター駐車場舗装改修 189万円（財源：市税等）  
・藍市民センター空調設備等改修 3,820万円（財源：市債）  
・有馬富士共生センター外壁等改修 1,324万円（財源：基金）
- ◆ かるがも園屋根改修（障害福祉課） 1,096万円  
（財源：基金1,096万円）
- ◆ 市営住宅大規模修繕（都市計画課） 3,459万円  
（財源：国・県1,511万円、市債1,510万円、市税等438万円）  
・大池南団地外壁改修 3,057万円  
・西山団地3号棟給湯設備更新 402万円
- ◆ 城山体育館多目的室空調設備改修（公園みどり課） 684万円  
（財源：市債680万円、市税等4万円）

※公共施設等整備基金を活用して実施します。

## ② 学校・園、給食センター維持補修費等（各施設所管課）

### 《事業の目的》

老朽化が進む学校・園、給食センターの施設や設備の維持補修等を適切に実施し、児童・生徒が安全かつ円滑に学校生活をおくれる環境を整備していきます。

事業費		3,975万円
財源	国・県	
	市債	
	基金	1,955万円
	市税等	2,020万円

### 《事業の内容》

- ◆ 中学校プール槽・ろ過装置修繕（教育総務課）  
（財源：市税等 330万円） 330万円
- ◆ 長坂中学校武道場外壁修繕（教育総務課）  
（財源：市税等 345万円） 345万円
- ◆ 狭間が丘中学校高圧受電設備改修（教育総務課）  
（財源：市税等 210万円） 210万円
- ◆ ゆりのき台中学校PC教室修繕（教育総務課）  
（財源：市税等 435万円） 435万円
- ◆ 小学校プールろ過装置修繕（教育総務課）  
（財源：基金 316万円） 316万円
- ◆ つつじが丘小学校プールサイド床修繕（教育総務課）  
（財源：基金 301万円） 301万円
- ◆ 小学校高圧受電設備改修（教育総務課）  
（財源：基金 270万円） 270万円
- ◆ 学園小学校施設調査（教育総務課）  
（財源：市税等 600万円） 600万円
- ◆ 高平幼稚園園舎屋根・外壁改修（教育総務課）  
（財源：市税等 77万円） 77万円
- ◆ 三田幼稚園プールろ過装置修繕（教育総務課）  
（財源：市税等 23万円） 23万円
- ◆ ゆりのき台給食センター棚回転保管庫修繕（学校給食課）  
（財源：基金 650万円） 650万円
- ◆ 清水山給食センター冷凍・冷蔵庫更新（学校給食課）  
（財源：基金 418万円） 418万円

※ありがとうございます！三田っ子応援基金及び公共施設等整備基金を活用して実施します。

### ③ 中学校大規模改修事業（教育総務課）

#### 《事業の目的》

子どもたちの安全・安心で質の高い学校生活を保障するため、校舎などの大規模改修工事を行い、学校教育の充実に向け、教育環境と教育条件の整備を図ります。

事業費		3億8,221万円
財源	国・県	7,173万円
	市債	3億1,040万円
	その他	
	市税等	8万円

#### 《事業の内容》

- ◆ 対象校 けやき台中学校
- ◆ 施設概要 築32年（昭和62年）、延床面積7,446㎡、鉄筋コンクリート造4階建て
- ◆ 総工事費 8億301万円  
【内訳】H31：3億8,221万円、H32：2億800万円、H33：2億1,280万円

### ④ 【新】公共施設マネジメントにかかる基金積立金（財政課）

#### 《事業の目的》

「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設マネジメント推進に向けた基本方針」などに基づく公共施設マネジメントの実施にあたっての財政的な対応として基金への積み立てを行います。

事業費		5,000万円
財源	国・県	
	市債	
	その他	
	市税等	5,000万円

#### 《事業の内容》

- ◆ 公共施設等整備基金への積立

### ⑤ 【新】公共施設の運営、維持管理のための歳入の確保（人事課・教育総務課・総務課）

#### 《事業の目的》

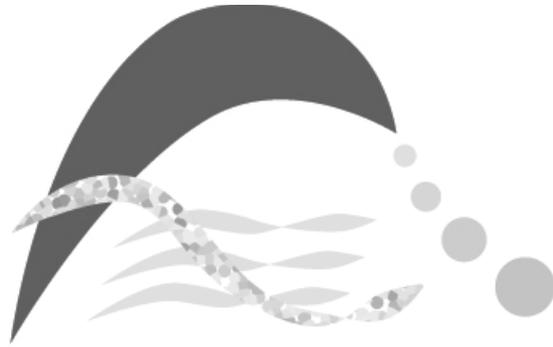
市有財産において、職員が通勤用自動車を勤務先に駐車する場合に使用料を徴収することとし、適正管理を図ります。それで得た財源は公共施設の運営、維持管理に充当します。

また、市有財産を活用した歳入の確保として、公共施設に広告媒体を設置し広告料収入を確保します。

歳入	2,150万円
----	---------

#### 《事業の内容》

- ◆ 市有施設における職員の駐車料金徴収の実施 1,726万円  
対象 1,196人（見込み）、基本使用料2,000円/月
- ◆ 広告用モニター、パネルの設置 424万円  
対象施設（本庁舎、フラワータウン市民センター、ウッディタウン市民センター）



明日の風がみえるまち  
三田

平成 31 年度  
三田市のわかりやすい予算

発行：三田市

編集：経営管理部財務室財政課

〒669-1595 兵庫県三田市三輪 2 丁目 1 番 1 号

電話 (079)559-5018

FAX (079)563-1366

電子メール [zaisei\\_u@city.sanda.lg.jp](mailto:zaisei_u@city.sanda.lg.jp)

この冊子は再生紙を使用しています。